

○練習計画

1月	5日	18:00~22:00	公民館祭りの練習
	12日	18:00~22:00	19:30~総会、総会後に公民館祭りの練習
	19日	18:00~22:00	公民館祭りの練習
	26日	時間はタイムテーブル参照	団内アンサンブル発表会の練習

文化センターでのアンサンブル練習日は13日(金)、21日(土)、24日(火)、30日(月)です。

○練習時注意事項等

- ・チューニング担当者が前に立ったら、直ちに音出しをやめましょう。
- ・合奏中の合奏合流は禁止です。合流は合奏が止まった時に。
- ・遅参時のウォーミングアップは必要最小限にし、出来る限り早く合奏合流しましょう。

○連絡事項等

- ・1月の総会にて取り上げたい案件がある方は、野口さんまでお願いします。
また、練習方法についての意見・要望も受付中です。こちらについても野口さんまでお願いします。
- ・残念ながら数名の退団がありました。メンバー募集活動について、ご協力をお願いいたします。

○特別寄稿

川村さんの

コンクール体験記

川村さんより頂きました。
ありがとうございます。

概要

〈第30回島村楽器 音楽コンクール〉

島村楽器音楽教室のレッスン生対象のコンクールで1次(公開審査・近畿)→2次(公開審査・西日本)
→本選(演奏会方式)

木管リード楽器・アンサンブルの部(クラリネット3重奏)で出場しました。
アンサンブルの部は本選はなく2次予選までです。

曲名

3つの魔法(高橋宏樹作曲)

I 風の魔法 II 海の魔法 III 月の魔法

2ndパート担当です。

きっかけ

30回記念の大会で今回初めてアンサンブルの部が出来たのでどうですか? 記念なので来年はないかもしれませんがどう? と先生に声を掛けて頂いたのでせっかくなので参加を決めました。

練習(1次)

個人練習ではまず楽譜通りのアーティキュレーションからチェックされました。気付かずに自分の都合のいいようにしていた所もありました。伴奏パートの強弱。曲の雰囲気によって発音をはっきりさせないようタンギング無しで吹いたり音色も注意されました。16分音符はとにかくリズム練習しました。アクセントの部分は曲のポイントなのでしっかり決めるように気を付けました。

初顔合わせの時に3人で練習するためのテンポを決めました。楽譜指定のテンポでするよりも落としでも出来るテンポで丁寧にする事を重視しました。テンポキープだったり3人揃ってからでないといけない所(ベルトーンだったりメロディーの受け渡し)を重点的に練習。奈良店のイベントでは場馴れだったり部屋ではなく広い空間で演奏してみたの全体のバランスをチェックされました。

私は音をしっかり出すように言われました。本番が近いのにテンポも定まらずかなりヤバいって思いましたが本番前に緊張出来る場所で練習出来た事は良かったです。

1次予選・京都

会場の出入りに制限があるので審査員の先生がいるだけで観客はほとんどいません。番号で呼ばれて演奏して舞台に戻るだけで録音、撮影、拍手禁止なので雰囲気としては祭典のリハーサルを先生に審査されてる感じを想像してもらえれば想像出来ると思います。雰囲気が祭典のリハーサルの感じに似てたのでそんなに緊張しませんでした。ホールは音は飛ぶけど床に落ちて響かないように聞こえるホールでした。アンサンブルの部は1組だけのエントリーでした。他にもいると思っていたのでちょっと寂しかったです。この時点でもう2次はないし終わったと思い込んでいるので、またアンサンブルあったらよろしく〜とお別れしました。

1次結果発表

本番は悔いのない精一杯の演奏は出来たけど指も回ってないし、音程を気にする事も細かい所も気にする余裕はなかったので1次通過は絶対無理と思っていました。結果発表はホームページで発表だったので絶対「該当者無し」って書かれてると思ってたので1次予選通過はびっくりしました。後日講評が届き、音程が合っていないとか音の出だしがはっきりしないだとか音の強弱の後音程が乱れるので気を付けてだとか16分音符のメロディー(1stと掛け合い)は1本に聞こえたらよくなるとか音色をもっと合わせられたらまとまった演奏になるとか書かれてました。でも楽しく聞けましたとか全体的にはよく吹けてましたとか書かれてました。ギリギリでの通過だったと思います。

練習(2次)

2次の練習は1回アンサンブルからは離れて10月後半からと言われました。1ヶ月弱は個々の基礎力を上げる為に高音になっても音が細くならないように半音階練習と少しだけスケール練習他エチュード。10月後半から2次練習開始。終わって3週間しか経ってないのに16分音符がだいたいグダグダになっているので再びリズム練習をするように言われました。3人での練習・反省会では講評に書かれていた事を重点的に、音程・縦の線を合わす練習(イメージの確認)をしました。先生と3人の練習ではritをした後、音楽の流れが切れると指摘されました。タイミングを合わす為に知らず知らず止まっていた。曲の流れが止まらないように微妙な間が開かないように練習。思った以上にfは大きくしないと大きくならなかったのも練習。メロディーはしっかり歌うけれど内声は歌ってしまうとかえってメロディーの邪魔をするのであまり歌わないように淡々と注意されました。音の処理(ブツと切らず最後まで気を抜かない)、響き(イメージは上向きの澄んだ音)等の注意。16分音符のメロディーはリズム練習は怠らないように練習するようと言われました。曲調を変える所は拍数が短くても歌うように、音のアクセントをはっきりさせて曲が流れるよう引っ張っていくように言われました。

2次予選

東大阪(ライティホール)
本番は夕方だったので島村楽器グランフロント店の練習室で一度合わせてみました。テンポがやり易い自分たちの都合のいいように落ちてるのでテンポ確認後、攻めていく(音楽を前に前に積極的に進めていく)事を確認しました。2次予選のソロの方は東海~九州の予選から選ばれた上手な方ばかりだったので3人全員レベルが違い過ぎる場違いな所に来てしまったと思いました。それでも最後は「攻めていく」って気合いを入れ直して演奏しました。ホールは音も飛ぶしよく響いたのでとても楽しく演奏できました。

2次結果発表

本番はリードミスあり2箇所間違えたし最後の最後で何が起こったかわからない位にバラバラで終わったので賞は貰えず、貰えても絶対参加賞かと3人全員思っていました。2次予選も「参加賞」(実際は参加賞はなく、金賞銀賞銅賞の3つ)とは思うけど、何て書かれてあるのかな?って確認するため見ただけだったので「銀賞」の文字を見た時はびっくりしたのと同時にめちゃくちゃ嬉しかったです。後日講評を頂きましたが音色をもっと合わせるとかもっと時間を掛けて突き詰めてしないと出来ない事が書かれていました。前回程指摘される点はなかったです。いい演奏でしたと書かれてたのでよかったです。終わってみて思った事は久しぶりにコンクールの緊張感が味わえて楽しかったです。ですが結局指摘される事はテクニックとかではなくいつも合奏で指摘されてる事ばかり。色んな事がまだまだかな?って思いました。